

令和元年度北海道中学校体育大会

第47回北海道中学校柔道大会開催要項

1. 主 催 北海道中学校体育連盟 北海道教育委員会 登別市教育委員会
(一社)北海道柔道連盟
2. 主 管 西胆振中学校体育連盟 登別柔道連盟 室蘭地区柔道連盟
3. 後 援 北海道 登別市 北海道都市教育委員会連絡協議会 北海道町村教育委員会連合会
北海道中学校長会 登別市校長会 (公財)北海道スポーツ協会 登別市体育協会
北海道PTA連合会 札幌市PTA協議会 北海道新聞社
4. 会 期 令和元年7月30日(火)～7月31日(水)
5. 会 場 日本工学院北海道専門学校 総合体育館 (JR幌別駅より約5.6km タクシーで約10分)
(JR登別駅より約9.2km 登別温泉より約7.6km)
〒059-8601 登別市札内町184-3 TEL 0143-88-0888
開会式 30日(火) 13:00～ 閉会式 31日(水) 14:45～



(日本工学院北海道専門学校 Webページ <http://www.nkhs.ac.jp/>)

6. 競技種目 男女団体戦及び男女個人戦

7. 日 程

前日 7/29(月)	8:00～11:30 会場設営・リハーサル		13:30 開場	14:00～17:00 公開練習・非公式計量	
第1日目 7/30(火)	8:30～	9:45～	11:25～	13:00～	13:40～
		11:15	11:55	16:00	16:30～
	開場・受付 非公式計量 (8:30～9:00)	審判会議 北海道中体連 審判研修会	監督会議	開会式	競技開始 <団体戦>
	※公式計量・柔道衣点検 (9:00～9:45)		団体戦表彰式		
	※公開練習 (8:45～11:15)				
第2日目 7/31(水)	8:00～	9:15～	9:45～	14:15	14:45～
	開場・受付	審判打合せ	競技開始 <個人戦>	競技終了予定	表彰式・閉会式
	※公開練習 (8:15～9:30)			※全国大会申込手続説明会 (15:30～)	全日程終了

8. 開催区分 北海道を札幌市及び14管内に分けて行う。

9. 参加資格
- (1)北海道中学校体育連盟に加盟する中学校・中等教育学校・義務教育学校に在籍する生徒で北海道中学校体育大会への出場資格を得、当該学校長及び当該地区中体連会長が出場を認めた生徒とする。
 - (2)年齢は、平成16年4月2日以降に生まれた者に限る。
 - (3)前項以外の生徒が参加を希望する場合は、令和元年6月30日までに北海道中学校体育連盟に申し出ること。
 - (4)北海道中学校体育大会に学校教育法第134条の各種学校（第1条に掲げるもの以外）の参加を認める。但し、詳細については北海道中学校体育大会開催基準による。
 - (5)参加生徒の引率者及び監督は、当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。
 - (6)監督・引率者は部活動の指導中の暴力等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていないものであること。外部指導者は校長から暴力等による指導措置がないこと。
 - (7)外部指導者（コーチ）は校長が認めた者で、北海道中学校体育連盟に登録された者とする。
 - (8)チームは、単一学校の生徒で編成されたものとする。
 - (9)参加者は、開催要項に掲げる個人情報の取り扱いについて了承するものとする。
 - (10)脳震盪対応について、選手および指導者は下記の事項を遵守すること。
 - ①大会1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場許可を得ること。
 - ②大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急専門医に（脳神経外科）の精査を受けること。)
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
 - ④当該選手の指導者は、大会事務局および（公財）全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
 - (11)皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。

10. 参加チーム数
- (1)団体戦 札幌市（男子2 女子1）・管内14・開催地1・開催管内1
＜計 男子18チーム 女子17チーム＞
但し、参加チーム数が男子18未満、女子17未満の場合は開催地の状況に応じ、開催地より更に2チームまで参加することができる。

- (2)個人戦（男女とも8階級） 札幌市1・管内14・開催地1 ＜計256名＞

11. 登録人数
- (1)団体戦 男子：監督1名 コーチ1名 選手8名以内（内補員3名） 計10名以内
女子：監督1名 コーチ1名 選手4名以内（内補員1名） 計6名以内
- (2)個人戦 各階級：監督1名 コーチ1名 選手1名

＜ 男 子 ＞		＜ 女 子 ＞	
90kg 超級	90kg 超	70kg 超級	70kg 超
90kg 級	81kg 超 ～ 90kg 以下	70kg 級	63kg 超 ～ 70kg 以下
81kg 級	73kg 超 ～ 81kg 以下	63kg 級	57kg 超 ～ 63kg 以下
73kg 級	66kg 超 ～ 73kg 以下	57kg 級	52kg 超 ～ 57kg 以下
66kg 級	60kg 超 ～ 66kg 以下	52kg 級	48kg 超 ～ 52kg 以下
60kg 級	55kg 超 ～ 60kg 以下	48kg 級	44kg 超 ～ 48kg 以下
55kg 級	50kg 超 ～ 55kg 以下	44kg 級	40kg 超 ～ 44kg 以下
50kg 級	50kg 以下	40kg 級	40kg 以下

＜外部指導者（コーチ）および学校内コーチの大会登録＞

- ①コーチは当該校の教員、または北海道中学校体育連盟に登録済みの外部指導者（コーチ）であること。
- ②団体戦、個人戦ともに1校1名以下とし、団体戦については他校と兼ねることはできない。
※但し、同一校で男女とも出場権を得ているチームは、それぞれに外部指導者（コーチ）をおくことができる。
- ③大会運営に支障をきたす場合の対応については、全柔連連達「コーチの振る舞いについて」の通りとする。

12. 大会規定

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定（2018 年施行）及び国内における「少年大会特別規定」による。
- (2) 柔道衣は白色とする。
- (3) (公財) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

※女子の黒帯は、白線のないものとする。

(4) 競技方法

【団体戦】

- ① トーナメント方式で行う（3 位、4 位決定戦は行わない）。
- ② 男子は 1 チーム 5 人制、女子は 1 チーム 3 人制により試合を行う。
- ③ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
- ④ 試合時間は 3 分間とし、代表戦における延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
- ⑤ 優勢勝ちの判定基準は、「一本」「技有」または「僅差（『指導』の差 2）」とする。
- ⑥ 勝敗の優劣の成り立ちは以下の通りとする。

「一本」＝「反則勝ち」>「技有」>「僅差」
- ⑦ チームの勝敗は、次の方法によって決定する。
 - ア、 チーム間における勝ち数による。
 - イ、 アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - ウ、 イにおいて同等の場合は、1 名による代表戦により決定する。
- ⑧ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3 分間の本戦で得点の差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
- ⑨ 選手が、男子 5 人、女子 3 人に満たないチームの参加については、男子 3 人、女子 2 人を下限として認めるが、大将から順にオーダーを組むこととする。

【個人戦】

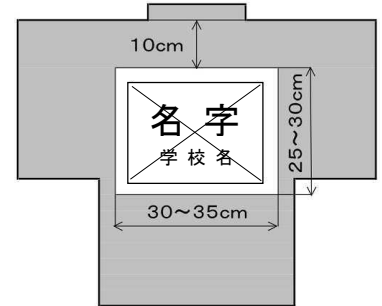
- ① トーナメント方式を基本とするが、7 名以下の場合はリーグ戦とする（3 位、4 位決定戦は行わない）。
- ② 試合時間は 3 分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
- ③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技有」又は「僅差（『指導』の差 2）」とする。得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦（ゴールデンスコア）で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
- ④ リーグ戦の順位は、次の方法によって決定する。
 - ア、 勝ち数による。
 - イ、 アにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
 - ウ、 イにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
 - エ、 ウにおいて同等の場合は、GS 方式の再試合を行う。試合順は再抽選による。

(5) 計量

- ① 団体戦（補員も含む）及び個人戦に出場する選手全員は、大会第 1 日目 7/30（火）の公式計量（9:00～9:45）において上衣を脱いで行う。計量は団体戦・個人戦別々に行い、団体戦・個人戦ともに出場する選手は、団体戦・個人戦別々に 2 回計量しなければならない。計量の時間等の詳細については、大会申し合わせ事項（別紙）を参照すること。未計量の場合は失格とする。
- ② 公式計量の前日及び当日朝に非公式計量（仮計量）を行うことを認める。
- ③ 非公式計量では、指定時間内に自由に体重を測定することができる。
- ④ 公式計量は指定された時間内に 1 回とし、再計量は原則として認めない。但し、特別な事情（公共交通機関の乱れ等）がある場合は、あらかじめ大会事務局に連絡すること。
- ⑤ 公式計量の服装は、男子は下穿き、女子は T シャツと下穿きの着用を認める。なお、下着の着用は認めるが、包帯サポーター等の着用は一切認めない。
- ⑥ 計量会場は別に指示する。
 - ア 団体戦 ○チームごとに登録選手全員が測定を行うこと。
○公式計量には監督が立ち会うこと。
○順番の入れ替え等があった場合は通知する。
 - イ 個人戦 ○定められた階級の体重区分内にない者は失格とする。
○監督は計量場所には入れない（指定場所にて待機すること）。
※別室計量が必要な者はあらかじめ申し出ること。

(6) 柔道衣点検

- ①公式計量に引き続き、選手全員の柔道衣点検を行い、検印をする。その際ゼッケンも確認する。試合場に上がってから違反が認められた場合は失格とする。
- ②本大会においては、全柔連認証柔道衣および従来の規格品両方を認める。但し、全国中学校柔道大会においてはこの限りではないので留意すること。
- ③柔道衣に必ずゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
 - ア 布地は白（晒、太綾）。
 - イ サイズは横 30～35cm、縦 25～30cm。
 - ウ 名字（姓）は上側 2/3、学校名は下側 1/3。
 - エ 書体は太字ゴシック体とする（明朝又は楷書でもよい）。男子は黒色、女子は濃い赤色。
 - オ 縫い付け場所は襟から 5cm～10 cm 下部の位置で周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- ④女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。なお、Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定（2013年4月1日より施行）に準ずる。
- ⑤柔道衣点検の際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
- ⑥胸マーキング等について、道場名等は不可とする。



(7) 審判員

（一社）北海道柔道連盟 室蘭地区柔道連盟 北海道中学校体育連盟

13. 表彰

(1) 団体戦

- ①入賞は3位までとする。
- ②1位には優勝旗を授与する。（次年度まで持ち回り）
- ③3位までの入賞者全員にメダルを授与する。

(2) 個人戦

- ①入賞は3位までとする。
- ②3位までの入賞者全員にメダルを授与する。

14. 組合わせ
抽 選

令和元年7月16日（火）14時より、開催地（登別市立緑陽中学校）において、主催者、開催地、専門委員長立ち会いのもと、公開抽選を行う。
公開抽選後の告知については、「北海道中学柔道専門委員会WEB」
URL：<http://zzr.s201.xrea.com/zcjl5/index.html> にて行う。
ほか、電話等の問い合わせには一切応じない

15. 参加料

- (1) 団体戦1チームにつき 男子 20,000 円 女子 15,000 円
- (2) 個人戦1人につき 2,500 円

16. 参加申込

- (1) 参加校は別紙「参加申込要領」を参照の上、「全国中学校柔道大会登録システム」にもれなく入力および印刷の上、必ず各地区中体連柔道専門委員長に申し込み、各地区中体連事務局を経由して下記に申し込むこと。

※監督の連絡先は、大会当日に連絡がとれるように、携帯電話の番号を記載すること。

(2) 送付及び連絡先

〒059-0028 登別市富岸町1丁目11番1
登別市立緑陽中学校内
第47回北海道中学校柔道大会実行委員会
事務局 無量林 高史 宛
TEL 0143-85-5409 FAX 0143-85-5433
E-mail zdcj2010@gmail.com

申し込み期日 令和元年7月12日（金）必着

※地区予選が終了していない場合は、参加の有無等含め、事前に地区専門委員長が、事務局に連絡をすること。

(3) 下記口座に期日厳守の上で大会参加料を振り込むこと。

銀行名 : 伊達信用金庫 わしべつ支店 普通預金
店 番 : 011 口座番号 : 4147535
口座名 : 第47回北海道中学校柔道大会
実行委員長 新沼 潔

(4) 必要書類

- ①参加申込書【1部】(学校長と中体連会長の印があるもの)
 - ②コーチ確認書【1部】(コーチがいる学校のみ)
 - ③監督・コーチIDカード【データ】(写真を添付し、地区ごとにメールで送信)
- ※書類のダウンロード等、すべてWEBページからの手続きとなります。

17. 宿 泊 (1) 実行委員会で紹介する。紹介を希望する学校は、別紙「宿泊申込要領」を参照の上、
「株式会社 近畿日本ツーリスト 苫小牧支店」に申し込むこと。

※希望の宿泊地や金額にならないこともあります。

※紹介ですので、個人で宿泊先をとられても構いません。

(2) 申込先

〒053-0021 苫小牧市若草町3丁目2-7 大東若草ビル1F
株式会社 近畿日本ツーリスト北海道 苫小牧支店
「第47回北海道中学校柔道大会」係
TEL 0144-33-1912 FAX 0144-32-1330
担当 : 竹内 康弘

18. 全国大会 団体優勝校と個人戦各階級優勝者1名は、北海道代表として全国大会への出場が認められる。
への参加 宿舍の予約に関しては、全中大会実行委員会より斡旋された宿舍を必ず利用すること。

第50回 全国中学校柔道大会
・開催地 兵庫県姫路市 ウィンク武道館(兵庫県立武道館)
・期 日 令和元年8月17日(土)～20日(火)

19. 個人情報の取り扱い (1) 大会参加者の氏名・所属・学年はプログラム、掲示板、ホームページ及び記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。

(2) 選手の大会成績はホームページ及び、記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。

(3) 選手の写真は、記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。

(4) 選手の生年月日は、年齢を確認するために利用する。

(5) 引率者または監督の連絡先は大会運営のため、緊急を要する場合に利用する。

(6) 選手の体重は、プログラム・計量結果一覧へ掲載するために利用する。

(7) 選手の段位・身長は、プログラムに掲載するために利用する。

20. その他 (1) 参加申込後の団体戦選手変更・個人戦棄権・監督変更は、開会式前日までに学校長承認の
文書を提出すること。個人戦の選手変更はできない。

(2) 監督・コーチは、全柔連通達「コーチの振るまい」を正しく理解されるとともに、審判員
に準じた服装(スラックス、ワイシャツ)をすること。

(3) 大会に関連する情報は、「北海道中学柔道専門委員会」WEBにて随時掲載する。

検索

北海道柔道

URL : <http://zzr.s201.xrea.com/zcjl5/>

(4) 応援の皆様へのお願い

① 観客席の数が十分でないため、大変な混雑が予想されます。荷物等での場所取りはご遠慮いただき、譲り合ってくださいようお願いいたします。

② 会場周辺にはコンビニや飲食店がありませんのでご注意ください。

(日本工学院北海道専門学校内の学生食堂、自動販売機は、応援の皆様も利用可能です)

③ 自家用車で敷地内の芝生に乗り入れないようお願いいたします。